

# 内輪差とは



神戸ドライバーズサポート

神戸・芦屋・西宮 ペーパードライバー出張教習 企業向け研修・講習



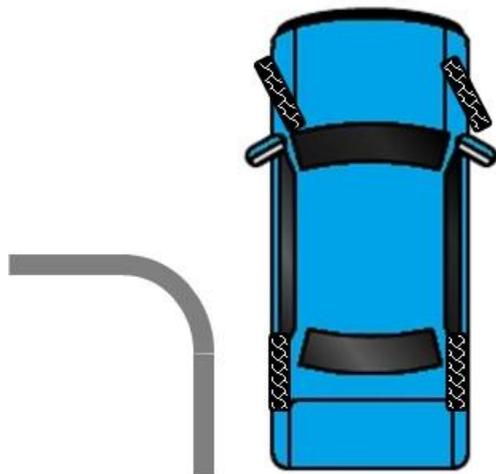
# 内輪と外輪

---

## 左へ動かす時

1番内側を通るタイヤは？

1番外側を通るタイヤは？

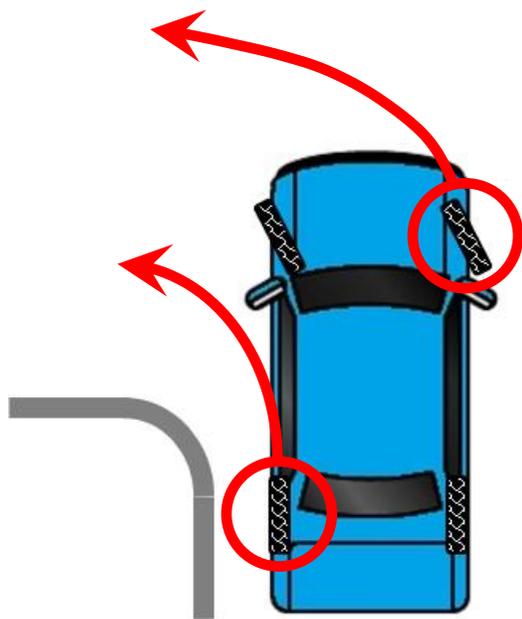


# 内輪と外輪

## 左へ動かす時

1番内側を通るタイヤは？ **左後輪**

1番外側を通るタイヤは？ **右前輪**

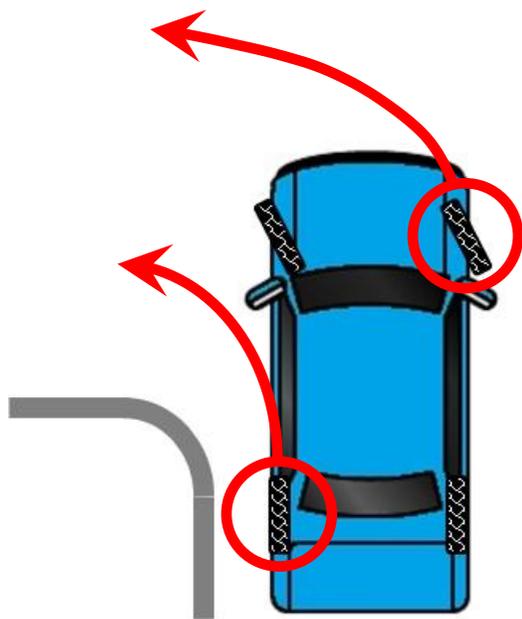


# 内輪と外輪

## 左へ動かす時

1番内側を通るタイヤは？ **左後輪**

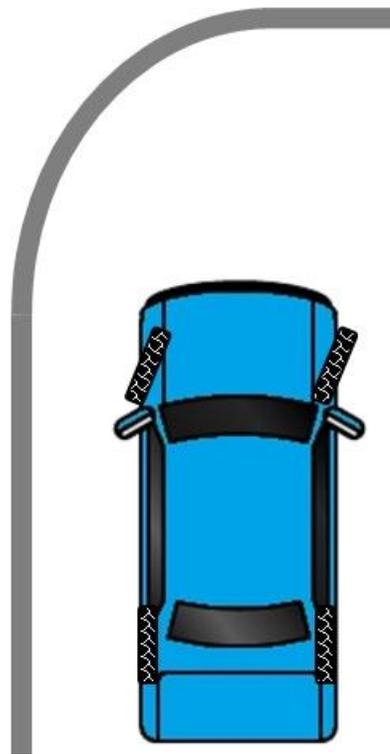
1番外側を通るタイヤは？ **右前輪**



## 右へ動かす時

1番内側を通るタイヤは？

1番外側を通るタイヤは？

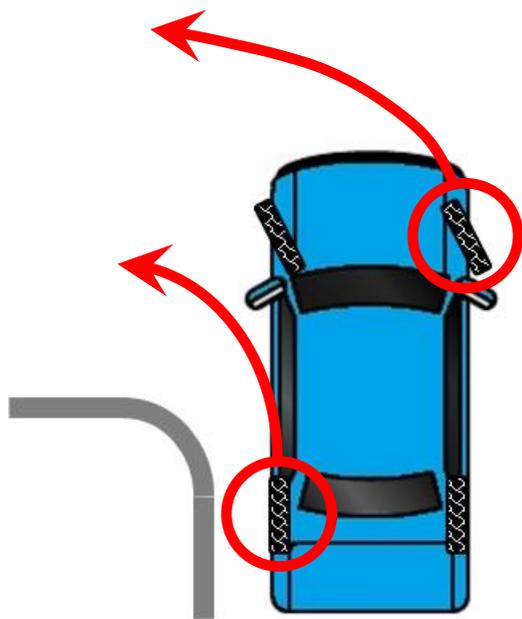


# 内輪と外輪

## 左へ動かす時

1番内側を通るタイヤは？ **左後輪**

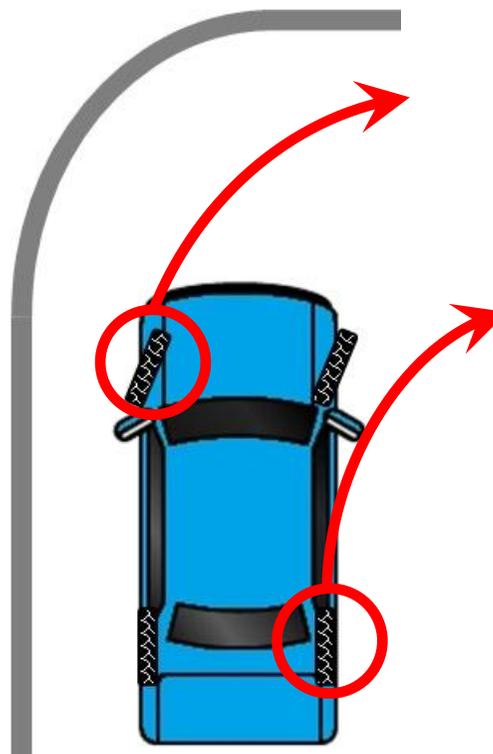
1番外側を通るタイヤは？ **右前輪**



## 右へ動かす時

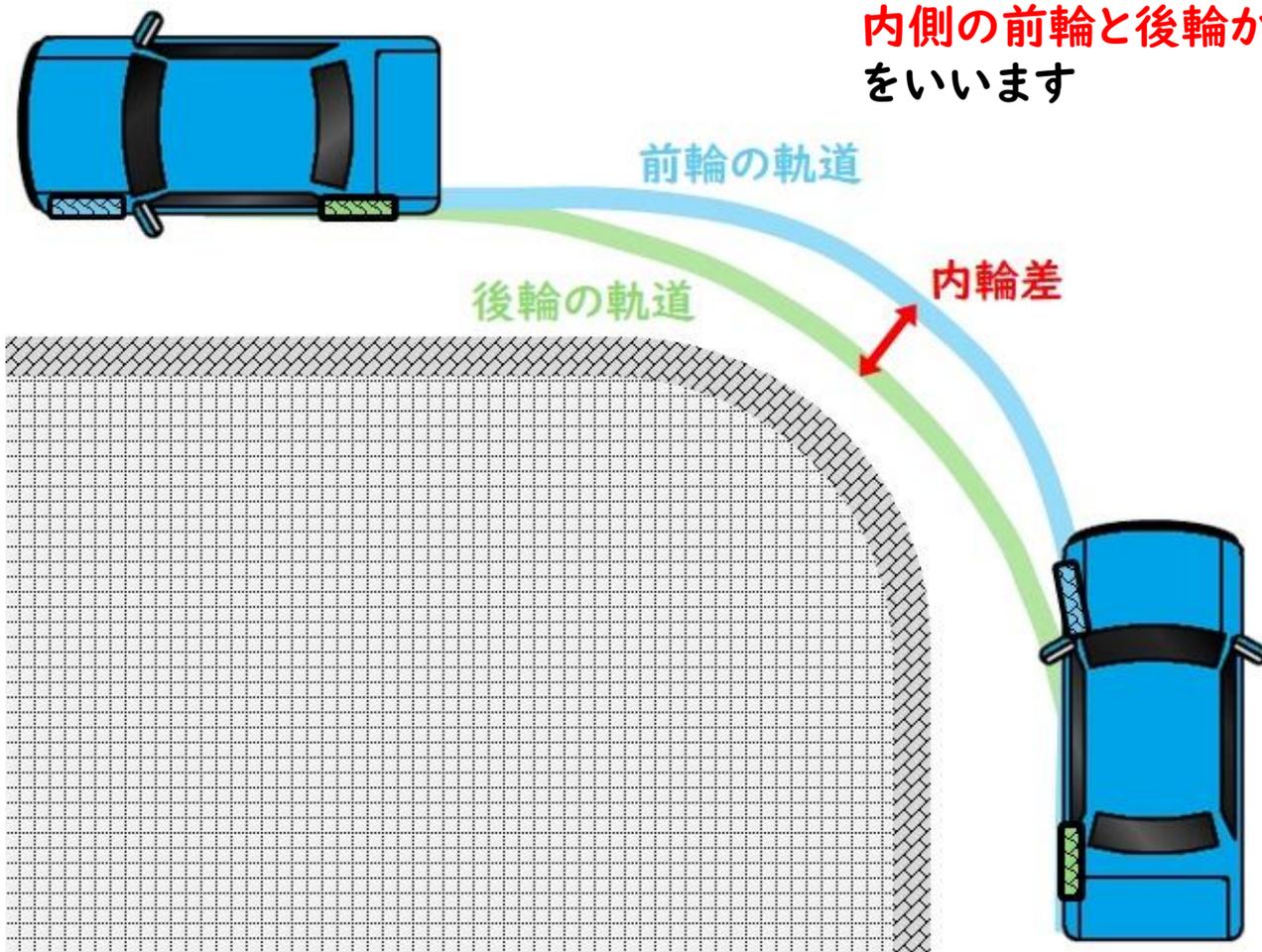
1番内側を通るタイヤは？ **右後輪**

1番外側を通るタイヤは？ **左前輪**



# 内輪差

内輪差とは  
自動車が曲がるときに  
内側の前輪と後輪が描く軌道の差のこと  
をいいます



# 内輪差は車の大きさによって異なる

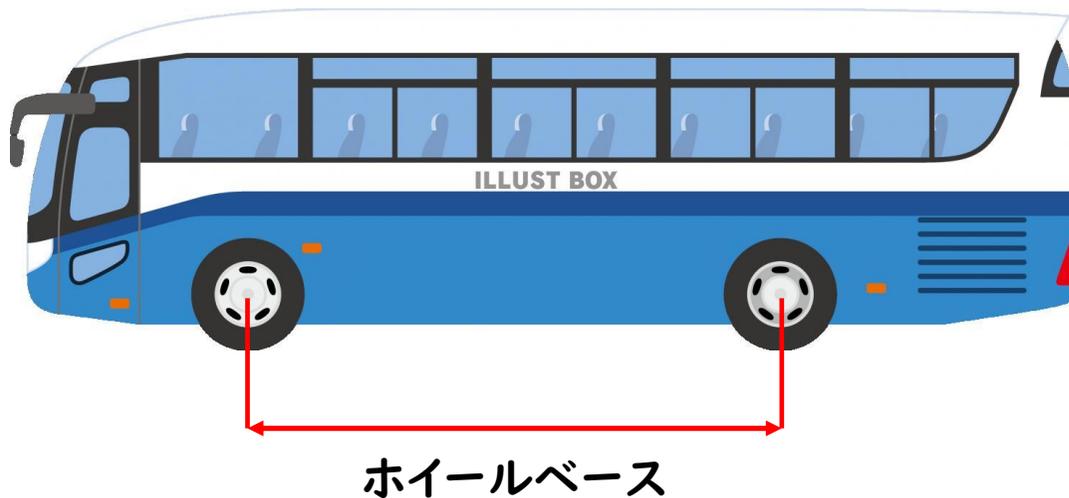
車両の前輪の中心から後輪の中心までの距離を「ホイールベース」といいます



ホイールベースが長いほど、内輪差は大きくなります

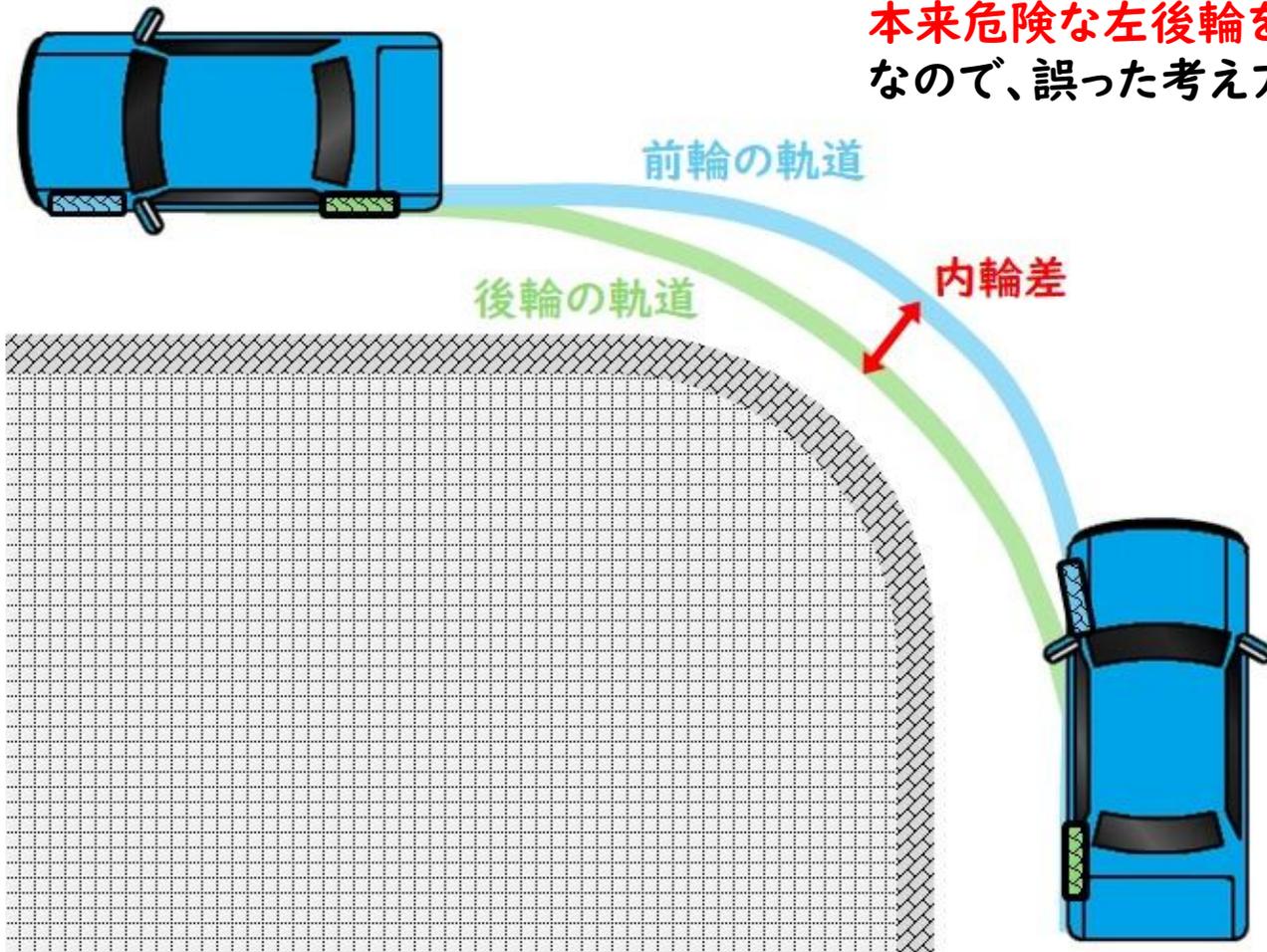
普通車なら  
0.8~1.0メートル  
くらいになります

バスなら  
1.5メートルを超える  
こともあります

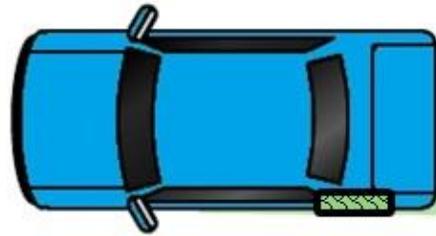


# 内輪差を考慮して曲がるのは間違い

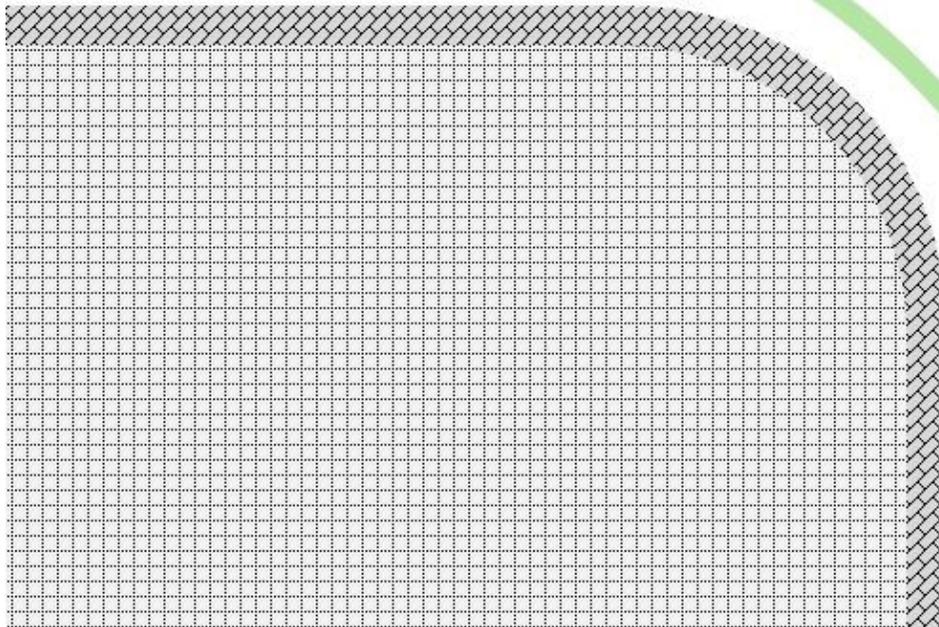
内輪差を考慮して曲がるということは  
「左前輪を基準に曲がる」ということになり  
**本来危険な左後輪を意識しないということ**  
なので、誤った考え方です



# 左後輪を基準に曲がるのが正しい考え方

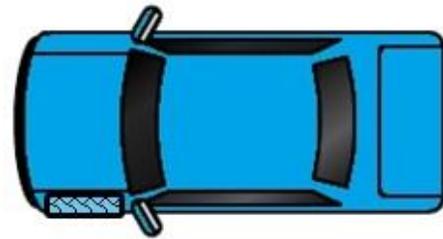


後輪の軌道



縁石等に接触しないよう  
かつ、離れて大回りしないよう  
**最も内側を通る左後輪を基準に**  
左へ曲がるのが本来の運転方法です

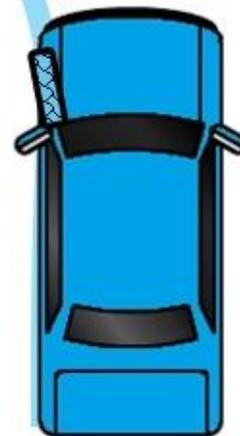
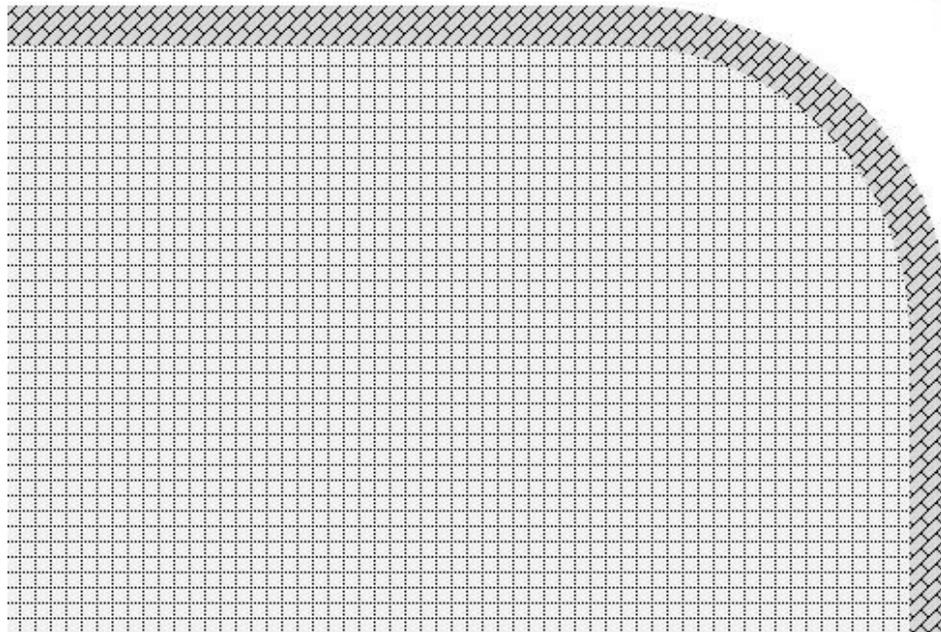
# ただし、左前輪と左側との関係にも注意する



前輪の軌道

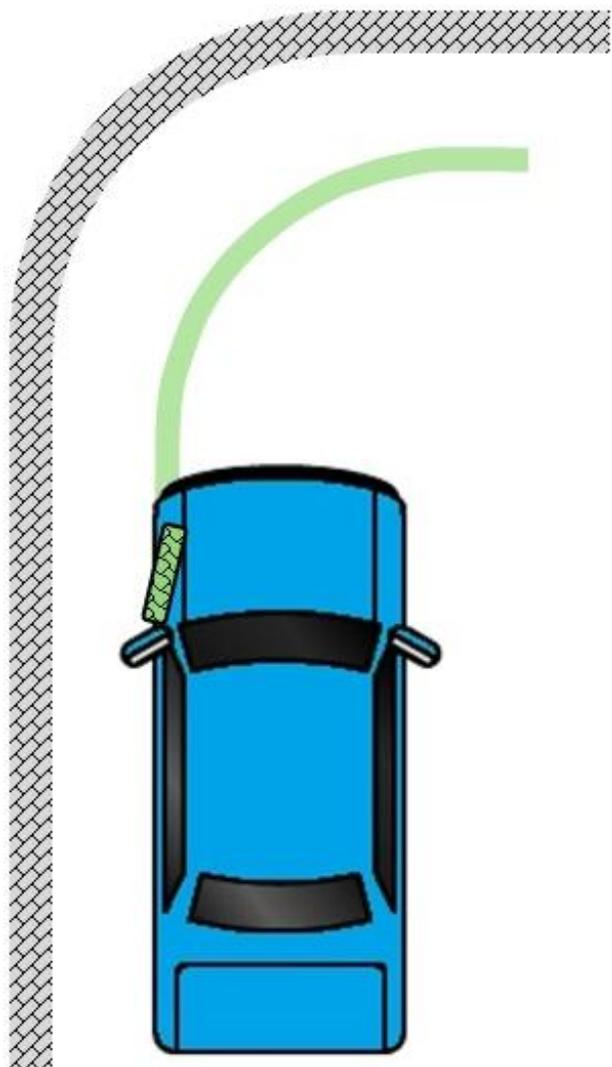
左前輪が左側の**直近を通れば**  
左後輪は接触又は脱輪してしまいます

左前輪が**左側からどんどん離れるような**  
**曲がり方をすれば**  
左後輪も離れてしまいます



# 右に曲がるときは左前輪を基準に曲がる

縁石等に接触しないよう  
かつ、離れて内回りしないよう  
**最も外側を通る左前輪を基準に**  
右へ曲がることとなります



Point!!

行先ばかり見て曲がると  
内回りしてしまいます

他の交通ルール等については

ウェブサイトの「**教習教材PDF**」ページでも

ご確認ください

<https://www.kobe-drivers-support.com/teaching-materials.html>

技能編



学科編



**神戸ドライバーズサポート**

神戸・芦屋・西宮 ペーパードライバー出張教習 企業向け研修・講習